

第23回男の合唱祭りinみやぎ

男の合唱祭りinみやぎが1月10日、2年ぶりに開催されました。昨年コロナ禍で中止となった第22回は歴史的記録として「第22回中止」としてスキップし、今回を第23回としました。

この大会は1999年、関西男声合唱祭〈バックスフェスタ〉と時を同じくして始まり、宮城県連と実行委員会の共催で開かれています。

会場は日立システムズホール仙台(802席)、入口でサーモカメラによる検温、手指消毒、マスク着用、客席は団ごとの指定、ステージは立ち位置が指定されました。

一般客の入場なし、出演者と関係者のみの聴き合いとなりました。出演者は直接ホールに入り、リハーサルなしで演奏、演奏時間8分をオーバーすると、例年では一升瓶1本のペナルティーが科されていましたが、第2部懇親会が中止なので、代わりに30秒ごとに2,500円没収となりました。

以前は37団体前後の参加でしたが、今回は21団体に減少してしまいました。「懇親会が無いなら参加しない」という団もあったとか(；；)

埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト

1/29-30 予定通り開催

第33回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテスト(SVEC^{スベック})は1月29日・30日、久喜総合文化会館大ホール(1218席)にて予定通り開催します。但し、ステージでの演奏と録音音源による出演を併用した方式とし、**出演者の客席への入場不可**です。審査用楽譜受け取りに限り各団2名まで出場ブロック終了まで客席への入場ができます。

入場券の当日販売中止、入場は事前予約・購入・招待者のみ、入場券のキャンセルについては返金されます。

1/29(土)高校①(28団体)・ユース(10)、1/30(日)ジュニア(3)・高校②(20)・レディー(6)・一般(9)、いずれも10:30開演、5~6団体演奏ごとに10分間の換気休憩を挟みます。果たしてどれだけの団体がオンステしてくるか気になるところです。

自粛か続行か、分かれる判断

まん延防止等重点措置が全国に拡大しているなか、すでに先週から活動中止を打ち出した団体もある

いっぼう、感染対策を施しながら継続している団体もあり、主催者の判断が大きく分かれています。

◆埼玉県合唱連盟主催のシニア向けの**彩の国プラチナ混声合唱団**は、84名がエントリーしていますが、1月25日の2回目の練習は27名(32%)が欠席でした。出席者の中には自身が所属する団は休みに入ったが、こちらには参加したという方が相当程度おられました。埼玉県の公共施設は今回のまん延防止策で貸し出しを中止するところはほとんどありませんが、団体が独自の判断で活動を自粛していることがうかがわれます。

◆1月30日に予定されていた**旭川合唱連盟は創立70周年記念式典**が中止されました。連盟ホームページにはまだ掲載されていませんが、水野雅文理事長がfacebookにこのことを投稿されました。記念式典は中止となりましたが、記念演奏収録と記念誌の発刊は終わっているのは幸いでした。

CO₂メーターで換気の確認を!

室内の換気のタイミングを計るのにCO₂メーターを利用する場合、出た結果をどう判断し、どう換気につなげるか、有効な使い方についてあらためて検証しておきましょう。

経済産業省/産業用ガス検知警報器工業会の「**二酸化炭素濃度測定器の選定等に関するガイドライン**」(2021年11月1日)では、測定器に最低限要求される基準を定めています。測定精度の観点から、検知原理が光学式で補正用の機能が付帯している機器を推奨しています。しかし、一般に入手可能な機器は、補正用機能が付いていないものが多いのではないのでしょうか。粗悪品が出回っているようですので注意しましょう。

正常かどうか確認する方法として、次の方法を薦めています。
①屋外のCO₂濃度を測定したとき、415~450ppmに近いこと
②測定器に呼気を吹きかけると値が大きく増加すること
③消毒用アルコールを塗布した手や布等を測定器に近づけても、値が大きく変化しないこと。

そのうえで、1000ppmを越す場合に換気が必要としています。測定器の位置は、ドア、窓、換気口から離れた場所で、

人から50cm以上離れた場所に置くこととしています。また空気清浄機はエアロゾル状態のウイルスを含む粒子の捕集はできますが、CO₂濃度を下げられません。

